

鵜南小学校等再整備に係る基本構想(案)について

鵜南小学校等再整備に係る基本構想策定作業は、9月及び12月市議会定例会子ども文教常任委員会において、これまでの取組状況や再整備に係る基本コンセプト、施設の配置計画(案)等の検討結果について中間報告をしております。その後においても本年1月までの委託期間のなかで保護者、教職員等、地域住民に対し情報提供と意見集約を継続的に行い、これらの意見等を反映させながらコンサルタントの知見に基づく検討を進めてきました。

この結果、基本構想(案)がまとまりましたので、その概要について報告するものです。

鵜南小学校等再整備基本構想の概要

1 これまでの取り組み状況について

- ・今年度は、学校や保育園、児童クラブの保護者や職員、地域住民のみなさまのご意見をいただきながら基本構想(再整備のコンセプトや施設配置など)を検討してまいりました。

◆鵜南小学校、浜見保育園保護者への説明、意見交換

- ・検討状況の説明と意見交換を継続的に行っています。また、10月29日(日)中間説明会、1月28日(日)に説明会を開催しています。

◆鵜南小学校、浜見保育園職員への説明、意見交換

- ・月に1回程度検討会を開催し、随時意見等を反映させながら継続的な検討を行っています。

◆地域住民への説明、意見交換

- ・鵜沼地区郷土づくり推進会議、町内会自治会連合会、隣接住民のみなさまに、検討状況の情報提供と意見交換を行うとともに、検討状況をお知らせする回覧を実施しています。また、保護者と合同で説明会を開催しています。

◆市議会への報告

- ・平成29年9月、12月に検討状況を市議会(子ども文教常任委員会)に中間報告し、平成30年2月に結果報告いたします。

2 再整備の基本コンセプトについて

- ・施設が抱える現状の課題や環境条件等を踏まえ、再整備の基本コンセプトを次のように設定しています。

① 子どもたちの安全・安心が保たれた施設とする

② 津波発生時の避難場所として安全・確実に避難できる施設とする

③ 子どもたちが健康で快適に過ごすことのできる施設とする

④ 保小連携や地域連携が行いやすい施設とする

⑤ 周辺住宅等の居住環境に配慮した施設とする

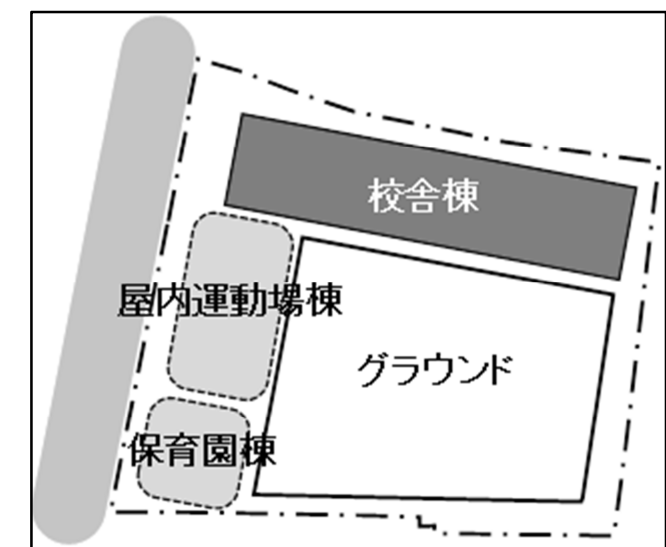
⑥ 長期にわたり機能性を確保できる長寿命な施設とする

⑦ 整備コストの低減や工期の縮減にも配慮した施設とする

3 配置計画(案)

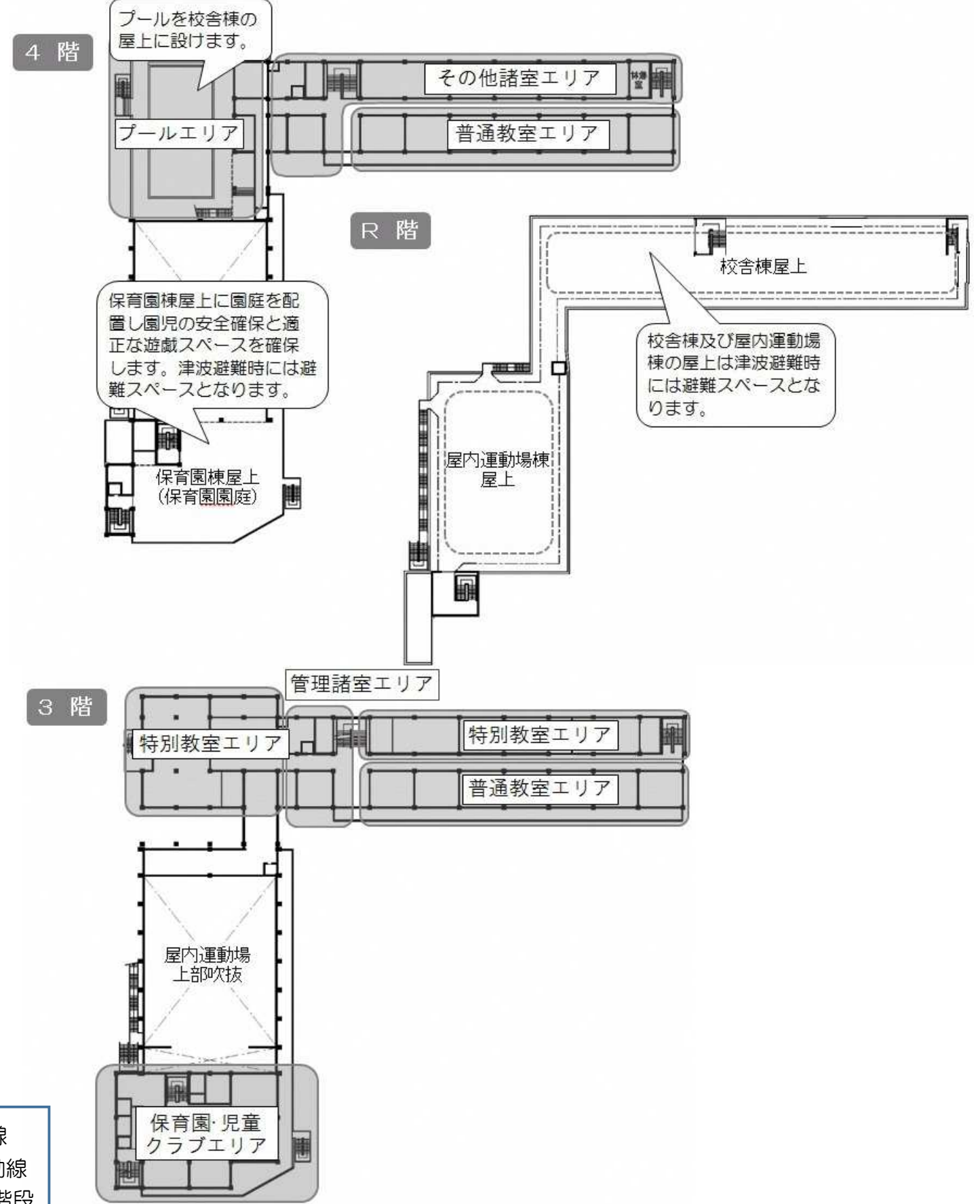
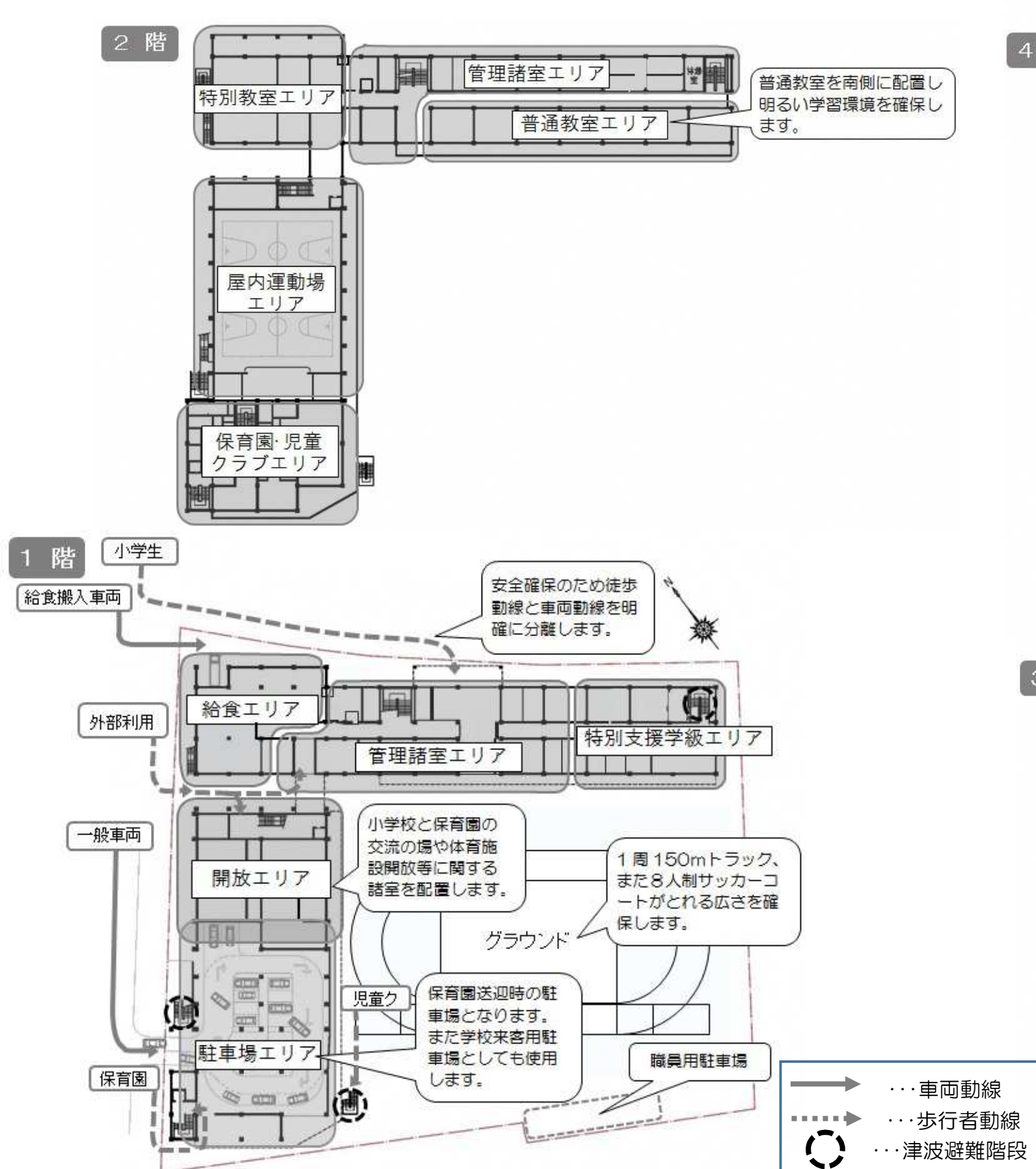
- ・校舎棟の配置案は3つの基本パターンがあり、比較検討の結果、適切な学習環境及び快適な生活環境が確保できること、周辺住宅への影響が少ないこと、3つの機能(小学校・保育園・児童クラブ)の動線区分が明確であること、などの観点から、校舎棟を敷地の北側(現在位置)に、屋内運動場棟を敷地の西側に配置する案を基本構想における配置(案)といたしました。

《基本構想配置(案)》



4 配置平面計画（案）

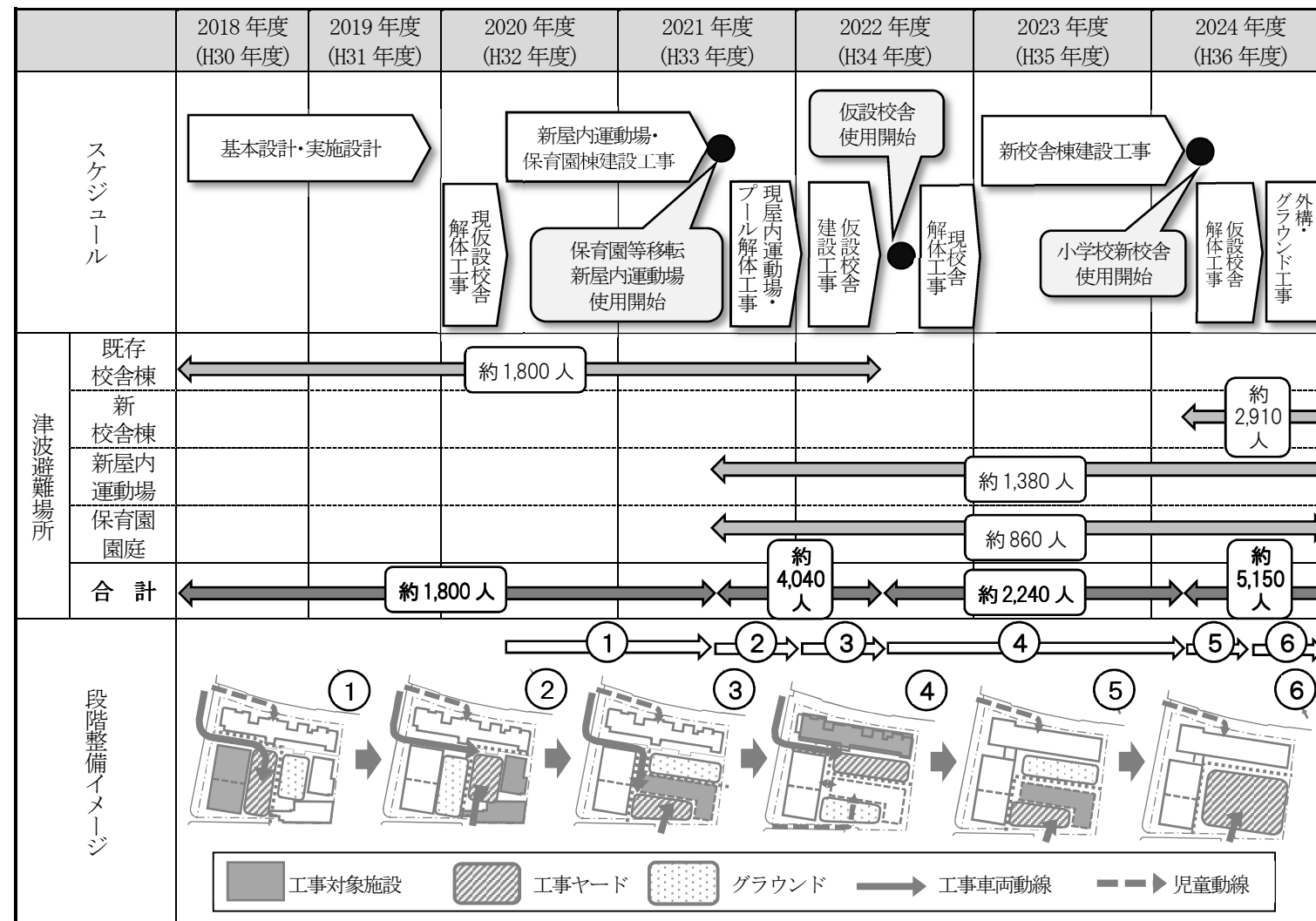
・先の基本構想配置（案）に基づく配置平面計画（案）を検討しています。なお、諸室の配置など、詳細のプランについては、来年度以降に実施予定の設計業務において、関係者と協議、検討の上、決定していきます。



5 事業スケジュールと工事エリアについて

- ・先の配置平面計画（案）に基づく事業スケジュールとしては、一時的に仮設校舎を建てて現校舎棟を解体し、新たな校舎棟を建てる必要があることから、新屋内運動場・保育園の完成が2021年度、小学校の新校舎の完成が2024年度となり、事業完了は2024年度末となる見込みです。
- ・今後、設計段階で詳細な工程計画を検討していきます。

《【配置平面計画（案）】における事業スケジュールと工事エリア》



6 津波時の避難について

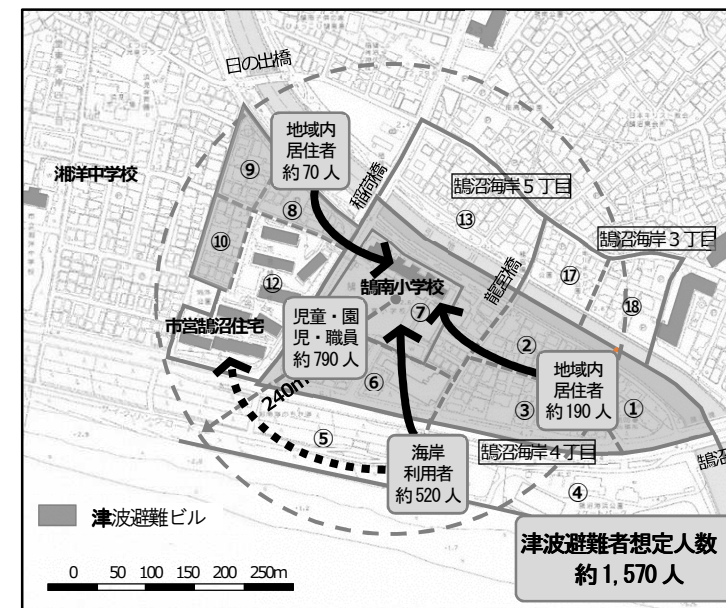
- ・本市への最大クラスの津波第1波到達時間は地震発生後6分とされており、鵠南小学校へ避難可能エリアとしては、相模湾と引地川に挟まれた概ね半径240mの範囲と考えられ、人口の多い昼間の津波避難者の想定人数として、児童・園児・職員約790人、地域内居住者約260人に海岸利用者約520人を加え、約1,570人の津波避難者を受け入れるスペースを3階レベル以上に確保するものとします。

◆想定津波の概要（藤沢市地域防災計画から）

想定地震	相模トラフ沿いの海溝型地震（西側モデル）
規模	マグニチュード8.7
震度	神奈川県全域で震度7
発生確率	30年以内ほぼ0%
第1波到達	地震発生後6分
最大津波高	8.8m（到達時間8分） ※藤沢海岸
最大浸水面積	4.7km ²
特徴	発生後40分後くらいまで繰り返し押し寄せる。20分後以降は2m前後の津波となる。

※このとき、鵠南小学校付近の浸水深は3.0~4.0mとされています。

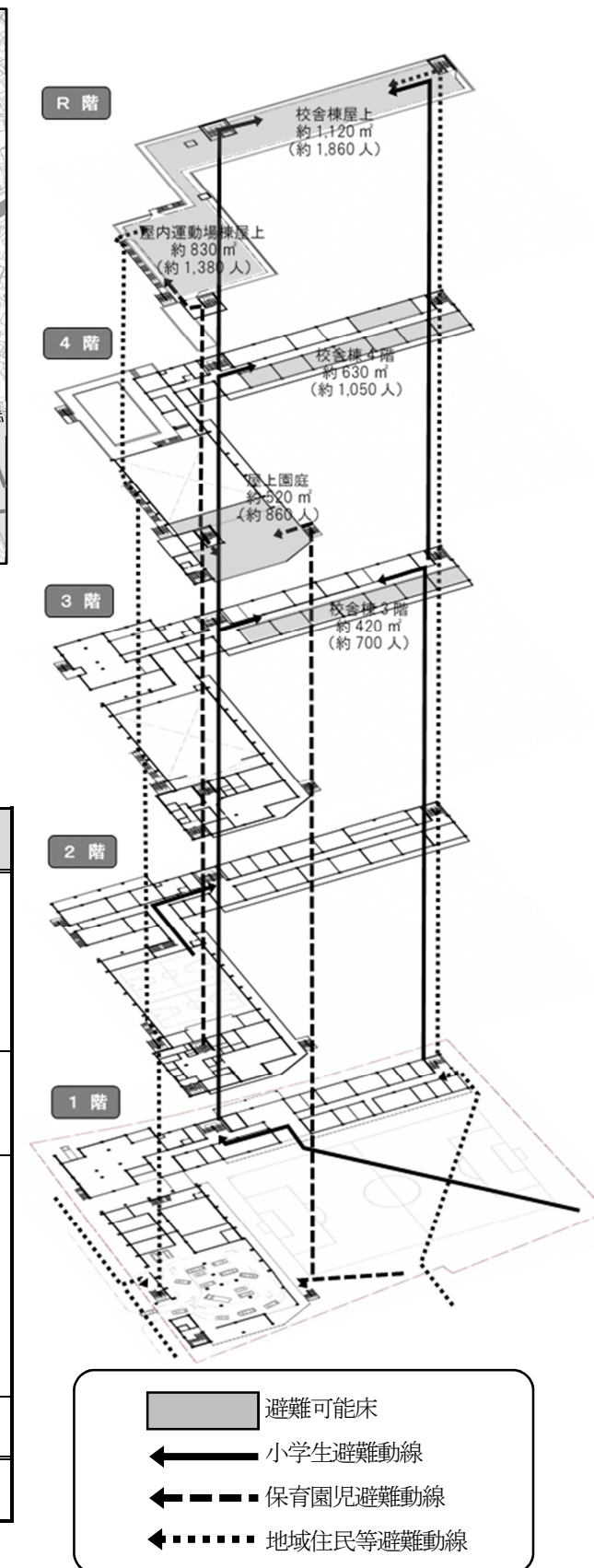
《津波避難者想定人数(昼間)》



- ・津波発生時は、校舎棟及び屋内運動場棟の3階以上が避難床になると考えられますが、校舎棟4階、屋上及び屋内運動場棟屋上の面積を単純に0.6㎡/人で換算すると、約5,150人が避難することが可能となります。

		世帯数	夜間人口	昼間人口【想定】			
鵠沼海岸4丁目	1	29	38	17	185		
	2	44	69	30			
	3	76	135	42			
	6	97	194	76			
	7	26	35	20			
	8	20	45	22			
	9	36	61	27			
	10	20	37	20			
	鵠南小学校	児童	—	0		593	790
		職員	—	0		52	
浜見保育園	園児	—	0	120	25		
	職員	—	0	25			
海岸利用者		—	0	520			
合計		348	614	1,564			

《避難動線イメージ》



事務担当：教育部学校施設課
子ども青少年部子育て企画課・青少年課